

あらまし

この地は幕末までは松平肥前守をはじめとした大名屋敷があり、明治になってからは陸軍練兵所として使用されました。その後の市区改正設計（都市計画）において、政治・経済・文化の中心たる首都東京にふさわしい、近代的な公園の誕生が強く望まれるなか、本多静六博士によって設計され、造成されたのが日比谷公園です。

日比谷公園は、西洋文化を大胆に取り入れつつも、和の要素を巧みに織りこんだ、日本初の「西洋風」公園として誕生し、時代とともにその歴史を重ね、多くの人々に愛され続けてきました。

首賭けイチョウ

園内でもひととき大きなこの木は、推定樹齢 400 ～ 500 年、幹周りは 7m もあります。もともとは現在の日比谷交差点あたりにあって、道路拡張のため伐採寸前にあったところを、本多博士が「私の首を賭けても」といって明治 35 年に移植させました。約 450m を 25 日間かけて移した大木は現在、日比谷公園のシンボルとして人々に親しまれています。



小音楽堂と大噴水

日本初の野外音楽堂として軍楽隊の演奏が披露されたのは明治 38 年のことで、今なお 3 代目となった建物では消防庁や警視庁の音楽隊が多くのファンを魅了しています。大噴水や芝庭広場(旧第二花壇)は、開園時には運動場として整備され、数々の国家的行事の舞台ともなってきました。広々とした空間では、一年を通じて様々なイベントが開催され、多くの人手で賑わっています。

ここがレガシー!! 日比谷見附跡の石垣

有楽門を入ってすぐ左手にあるこの石垣は、江戸城警備のための城門（見附）の一つ、日比谷見附の一部です。公園から北西にほど近い桜田門を見ればよく分かりますが、かつての日比谷見附もまた、高麗門（こうらいもん）や枳形（ますがた）、渡槽（わたりやぐら）、番所等を備えていました。本多博士は、残された石垣や濠を巧みに生かした設計を行うことで、日比谷公園特有の魅力を生み出すことに成功しています。

その他園内では、有楽門をはじめとした門柱や、上水施設跡の石枳など、随所に歴史的な遺構を見ることができます。



公園の概要

問い合わせ先

指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会
日比谷公園サービスセンター

〒100-0012

東京都千代田区日比谷公園 1-6

TEL 03-3501-6428

FAX 03-3501-6429

※ 8:30～17:30（年末年始を除く）

follow me

X(旧Twitter) @Parks Hibiya

所在地

東京都千代田区日比谷公園 1- 6

開園年月日

明治 36 年 6 月 1 日

開園面積

161,636.66 m²（一部は国有地の無償貸付を受けています。）

主な施設

日比谷公会堂 大音楽堂
小音楽堂、陳列場、日比谷図書文化館
フェリーチェガーデン日比谷、テニスコート
草地広場、飲食店・売店
緑と水の市民カレッジ



URL <https://www.tokyo-park.or.jp/>

アクセスマップ



交通

- 東京メトロ丸の内線・千代田線「霞ヶ関」から徒歩 2 分
- 東京メトロ日比谷線・千代田線・三田線「日比谷」から徒歩 2 分
- 東京メトロ有楽町線「桜田門」から徒歩 5 分
- JR 山手線「有楽町」から徒歩 8 分
- ※駐車場（有料地下公共駐車場）

MEMO

スタンプシートとしてもご利用ください。